

市役所新庁舎基本設計が完了

平成23年1月から着手しており、基本設計が10月末に完了しました。

今後は、詳細な実施設計に着手し、平成24年8月を目処に取りまとめ、平成24年末より工事を着手し平成26年12月末の新庁舎オープンを目指してまいります。

新庁舎建設基本設計においては、設計方針として「市民から親しまれ愛される庁舎」として6つのコンセプトに重点を置き協議を進めました。

- ① 誰もが訪れやすい庁舎、
- ② わかりやすい施設構成、
- ③ 市民に開かれた庁舎、
- ④ 機能的で経済的な庁舎、
- ⑤ 災害に強い環境共生型庁舎、
- ⑥ 南あわじらしい庁舎をコンセプトに来庁者駐車場を中心とした配置計画としています。

現中央庁舎と連携しながら、建物内外どこからでも市民の皆様が豊かな自然を感じることができる開かれた庁舎を目指します。

基本設計案については、来月号の広報南あわじにおいて詳しく紹介させていただきます。



計画平面図

新鮮な海の幸が集結。水産まつり

地元産の魚をPRしようと11月19日、水産まつりが慶野松原海水浴場駐車場で開催されました。同まつりは市内5つの漁協で組織された水交会が毎年開催し、今年で6回目。漁協関係者らによる豊漁祈願や餅まきが行われました。



▲訪れた田村章啓くん(左・北阿万)は「魚介類は大好き。揚げたてで新鮮なタコ天は身がプリプリで甘くておいしい」と笑顔で話していました



▲揚げたての天ぷらを受け取る来場者

また来場者には市内各地で獲れた海産物の販売やアジ・タチウオ・アオリイカの天ぷらやフグのてっさなど新鮮な海産物が振舞われました。

淡路ふれあい公園に授乳室が完成

淡路ふれあい公園管理棟に10月、授乳室を2室設置しました。ほ乳ビンを持ったゆめるんがお出迎えしてくれます。少子対策課では、「子育てファミリーが安心して気軽に外出できて遊べる公園として多くの人に利用していただき、授乳室も活用してほしい」としています。



▲授乳室には、ベビーベッドや授乳用イス、荷物台が完備されています

自衛官募集相談員

市役所中央庁舎で11月22日、平成23年度自衛官募集相談員委嘱式が行われました。平成21年度に委嘱を受けた人たちが任期満了となり、今回7人の人たちが委嘱状の交付を受けました。今後、自衛隊との懸け橋として志願者に関する情報提供等の活動を行います。任期は2年間。委嘱状の交付を受けた人たちは次のとおりです。

- 出田 裕重さん (阿万)
- 岡田 功三さん (松帆)
- 川野 四朗さん (福良)
- 谷口 博文さん (松帆)
- 中島 義晴さん (広田)
- 眞野 正治さん (榎列)
- 山下 登さん (賀集)



▲中央庁舎で行われた委嘱式

乳牛と和牛 県の共進会が開催



▲淡路島牧場で開催された兵庫県乳牛共進会 (11月12日)

第29回らくのうひょうこフェスティバルが11月12日、淡路島牧場で開催されました。県内から選ばれた66頭の乳牛が出揃い、自慢の牛の肉付きや体格などを競い合う「兵庫県乳牛共進会」が開催され、牛乳まつり、絵画コンクールなども行われました。牛乳の試飲や乳製品のつかみ取り、特産品の抽選会、乳製品の販売、もちまきなどで、約3000人の家族づれや観光客らが楽しみました。



▲西脇市で開催された兵庫県畜産共進会 (10月23日)

- 共進会入賞者一覧(敬称略)
- 〔乳牛の部〕
 - ◆優秀賞Ⅱハーバート エルウイン ミツファイア(山口貴士・北阿万)、ピツクアーフアーム GW セレブ マオ(木田有・北阿万、ジャラルベリー エフ(堤茂樹・賀集))
 - 〔和牛の部〕
 - ◆種牛の部
 - 最優秀賞4席Ⅱやえふく(近藤晴次・榎列)
 - ◆肉牛の部
 - 最優秀賞1席Ⅱ福安俊(清川浩平・広田)

農業委員会委員選挙人名簿登録申請書

農業委員会選挙人名簿は、毎年、有権者からの申請に基づいて登録されます。申請書は、12月中旬に農会長等を通じて配布させて頂きます。次の要件を満たして登録する人は、申請をお願いします。

- ① 市内に住所がある人
- ② 年齢が満20歳以上(平成24年3月31日現在)の人
- ③ 10a以上の農地の耕作者もしくは、その同居親族

たは配偶者で耕作日数が年間60日以上の人
提出先 農会長(灘地区のみ自治会長) または農業委員会
提出期限 1月10日(火)
※市役所への提出期限です。
農会長へは早めにご提出ください
選挙管理委員会 ☎43・5004、農業委員会事務局 ☎43・5029

淡路障害者自立支援の集い

三原公民館で11月12日、第5回障害者自立支援の集いが開催されました。



▲淡路障害者自立支援の集い

同集いに参加した人たちは約200人。東日本大震災を遠く離れた地域のこととして終わらせるのではなく、防災を通じて「繋がり」をテーマに取り上げ、青野繁清さん(気仙沼障害者生活支援センター長)を講師に招き講演が行われました。青野さんは東日本大震災の被災地における障害者の支援について話しました。その後、障害を抱えた子どもを持つ親の会であるオレンジの会、手をつなぐ育成会の事例発表などシンポジウムが開催されました。